

- 問1 日本の古墳時代にあたる4世紀から6世紀ごろ、朝鮮半島では3つの国家が互いに勢力を競い合っていました。この3つの国家の組み合わせとして正しいものを次から選びなさい。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)

1. 高句麗・百済・新羅

2. 渤海・高麗・新羅

3. 魏・呉・蜀

4. 隋・唐・宋
- 問2 3世紀後半から古墳時代にかけて造られた、円形の後円部と方形（四角形）の前方部を組み合わせた、上空から見ると鍵穴のような形をしている古墳の名称を答えなさい。 (2018年 長崎県公立入試 類似)

1. 方墳

2. 円墳

3. 積石塚

4. 前方後円墳
- 問3 5世紀のヤマト王権の有力者たちは、当時の中国において、政治的な正当性や朝鮮半島での軍事的な立場を認めてもらうために使者を派遣しました。このとき、ヤマト王権が朝貢を行った中国の王朝の総称として正しいものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 南朝

2. 北朝

3. 隋

4. 唐
- 問4 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が渡ってきた時期の文化についての説明として、渡来人が伝えた土器の特徴を表しているものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)

1. 薄手でかたく、赤褐色をした弥生土器

2. 低温で焼かれた、あつ手で褐色の縄文土器

3. 表面に縄目の文様がつけられた深鉢形の土器

4. 高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器
- 問5 群馬県の綿貫観音山古墳から出土した資料などに見られる、灰色で硬く焼き締められた土器の製作上の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 稲作が普及し始めた時期に、表面に縄目の文様をつけてから乾燥させて焼かれた

2. 日本列島で古くから用いられてきた伝統的な技法で、野外で比較的低い温度で焼かれた

3. 朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた

4. 中国大陸の青銅器の影響を強く受け、表面に複雑な幾何学文様を彫り込んで焼かれた
- 問6 古代の日本において、ヤマト政権が朝鮮半島諸国との外交や軍事活動を通じて、他勢力に対し優位に立つために最も獲得を重視した資源はどれか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 武器や農具の材料となる鉄

2. 権威を象徴するための金印や銅鏡

3. 外交の儀礼に用いられる仏教の経典

4. 貨幣の原料となる金や銀
- 問7 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。

2. 仏教の伝来にともない、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。

3. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。

4. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。
- 問8 5世紀の日本において、大和政権が広範囲を支配していたことを示す証拠として、埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣があります。この鉄剣には表面に金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれており、そこに見られる、当時の大和政権の王を指す名称として正しいものを選びなさい。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)

1. 聖徳太子

2. 卑弥呼

3. ワカタケル大王

4. 中大兄皇子
- 問9 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

1. 土師器

2. 縄文土器

3. 弥生土器

4. 須恵器
- 問10 古墳時代における渡来人の活動と、日本社会に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれかを選びなさい。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

1. 平安時代に地方の政治が乱れる中、自らの土地を守るために武装し、後の武士の源流となった。

2. 九州北部の防衛のために東国から派遣され、唐や新羅による侵攻に備えて沿岸を警備した。

3. 朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。

4. 中国の優れた制度や文化を吸収するために日本から派遣され、小野妹子らがその代表である。
- 問11 5世紀に「倭の五王」が中国の南朝へ繰り返し使者を送り、朝貢を行った背景や目的についての説明として、最も適切なものを選択してください。 (2024年 三重県公立入試 類似)

1. 日本独自の元号を定めるにあたり、中国の皇帝から許可を得ることで、東アジアにおける地位を確立しようとしたため。

2. 中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。

3. 白村江の戦いでの敗北を受け、唐や新羅による日本侵攻を防ぐために、中国との友好関係を急いで構築する必要があったため。

4. 冠位十二階や憲法十七条などの新しい制度を導入するため、先進的な政治体制を直接学ぶ官僚を派遣する必要があったため。
- 問12 古墳時代における渡来人の移動と技術伝来が、当時の日本列島の社会に与えた影響について述べた文章として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 岩手県公立入試 類似)

1. 青銅器と鉄器が同時に伝わり、金属器を使った道具の製造が初めて行われた。

2. 大陸からの技術移転により、日本列島で初めて米作り（水稲耕作）が始まった。

3. 全国に国分寺や国分尼寺が建てられ、仏教を中心とした国家体制が完成した。

4. 須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。
- 問13 5世紀の日本において、埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳から出土した鉄剣・鉄刀に銘文として刻まれていた大王の名として正しいものを、次の選択肢の中から1つ選びなさい。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)

1. ワカタケル大王

2. 聖徳太子

3. 卑弥呼

4. 中大兄皇子
- 問14 西ローマ帝国が滅亡した476年ごろから、遣隋使が派遣される607年ごろまでの期間における、日本列島と周辺地域の交流の様子を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2026年 高知県公立入試 類似)

1. 朝鮮半島の国家から將軍の代替わりごとに公式な使節団が派遣され、儒教の交流が行われた。

2. 朝鮮半島の戦乱を避けて移住してきた人々が、養蚕や機織り、文字などの技術を伝えた。

3. シルクロードを経由して西アジアの文化が直接日本の庶民の生活に浸透した。

4. 対馬などの沿岸部を拠点とする集団が、食料や人々を奪うために大陸沿岸を襲撃した。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                       |                                                                                                                                                                              |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>高句麗・百済・新羅                                                     | 朝鮮半島では、北部の高句麗、南西部の百済、南東部の新羅の3校が対立し、抗争を繰り返していました。この情勢は当時の日本（倭）の外交や技術導入にも大きな影響を与え、日本は主に百済や加羅（加耶）の地域と結びついて行動していました。                                                             |
| 問2  | 答え 4<br>前方後円墳                                                         | 古墳時代を代表する墓の形式であり、円形と方形を組み合わせた独特の形状が特徴です。当時の有力者の権力の大きさを示す象徴として、近畿地方を中心に全国各地へ広がりました。                                                                                           |
| 問3  | 答え 1<br>南朝                                                            | 5世紀の中国は、華北を支配する北朝と、江南を支配する南朝に分かれて対立していました。地理的に南に位置する王朝と交流しやすかったヤマト王権は、南朝の諸王朝へ「倭の五王」と呼ばれる王たちが相次いで使者を送り、朝貢を行いました。                                                              |
| 問4  | 答え 4<br>高温で焼かれた、かたくて灰色の須恵器                                            | 渡来人は朝鮮半島から新しい技術をもたらしました。その一つとして、窯を用いて高温で焼き上げる、かたくて灰色の須恵器をつくる技術が伝えられました。                                                                                                      |
| 問5  | 答え 3<br>朝鮮半島から伝わった技術を使い、穴窯の中で酸素を制限しながら高温で焼かれた                         | 群馬県の綿貫観音山古墳から出土したような灰色の硬質な土器は須恵器と呼ばれます。これは5世紀頃に朝鮮半島から伝来した技術で、斜面に作った穴窯を使用することで、野焼きでは不可能な1000度以上の高温状態を保って焼成されました。この製法によって粘土が焼き締まり、金属のような硬さを持つ土器が誕生しました。                        |
| 問6  | 答え 1<br>武器や農具の材料となる鉄                                                  | 当時の日本列島では鉄の原料を十分に自給できず、朝鮮半島からの供給に依存していました。鉄は強力な武器を作るだけでなく、開墾や土木作業に不可欠な農具の材料でもあったため、鉄を安定確保することは、軍事力と農業生産力の両面において政権の基盤を固めるために極めて重要でした。                                         |
| 問7  | 答え 3<br>古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。                          | 5世紀は「倭の五王」が中国の南朝へ使いを送り、政治的な地位を確立しようとした時代です。この時期の古墳には、円筒埴輪だけでなく、冢、武器、人物などをかたどった形象埴輪が並べられ、葬られた者の権威や儀式の様子を示す役割を果たしていました。土偶は縄文時代、銅鐸は弥生時代、寺院建立は飛鳥時代以降の特徴であるため、混同に注意が必要です。         |
| 問8  | 答え 3<br>ワカタケル大王                                                       | 埼玉県の稲荷山古墳から出土した鉄剣には、金象嵌によって「獲加多支鹵（ワカタケル）大王」の名が刻まれています。この王は『日本書紀』や『古事記』に登場する雄略天皇にあたると考えられており、5世紀ごろの大和政権の強力な支配力を示す重要な史料となっています。                                                |
| 問9  | 答え 4<br>須恵器                                                           | 古墳時代には朝鮮半島から渡来人によって新しい製作技術が伝えられました。それまでの日本列島で伝統的につくられてきた、野焼きで赤褐色の土師器に対し、須恵器は密閉された窯を用いて高温で焼成されるため、灰色で非常に硬い仕上がりになります。この技術革新により、より実用的で堅牢な容器の生産が可能になりました。                        |
| 問10 | 答え 3<br>朝鮮半島から移住し、漢字や仏教の伝来、須恵器などの陶質土器の製作技術を日本に伝えた。                    | 当時の日本にはなかった高度な知識や技術を持っていた人々に関する記述です。彼らが伝えた「須恵器」は、従来の土師器よりも高温で焼かれた硬い陶質土器であり、生活様式の変化をもたらしました。また、文字（漢字）の導入により、行政や外交などの記録が可能になり、大和政権の組織化が促進されました。                                |
| 問11 | 答え 2<br>中国の皇帝から称号を授かることで、国内の豪族に対する統治の正当性を高め、朝鮮半島南部における軍事的な立場を有利にするため。 | ヤマト王権の王たちは、中国の皇帝から「安東大將軍」などの高い称号を得ることで、日本国内における絶対的な権威を確立しようとしました。また、当時の朝鮮半島では高句麗や新羅、百済が対立しており、その中で軍事的な優位性を国際的に承認させる狙いもありました。                                                 |
| 問12 | 答え 4<br>須恵器の製造技術や漢字・儒教などが伝わり、社会の技術や文化が大きく向上した。                        | 古墳時代に朝鮮半島から渡来人が移住したことで、須恵器の製造技術に加えて漢字、儒教、仏教、機織などの高度な文化や技術が伝わり、日本の技術や生活文化が飛躍的に発展しました。                                                                                         |
| 問13 | 答え 1<br>ワカタケル大王                                                       | 埼玉県の稲荷山古墳や熊本県の江田船山古墳からは、「ワカタケル大王（獲加多支鹵大王）」の名が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これにより、5世紀後半にはヤマト王権の支配が関東から九州におよんでいたことがわかります。                                                                   |
| 問14 | 答え 2<br>朝鮮半島の戦乱を避けて移住してきた人々が、養蚕や機織り、文字などの技術を伝えた。                      | この時期、朝鮮半島での戦乱を背景に多くの人々が日本列島へ渡り、大和政権の国づくりに協力しました。彼らが伝えた技術は、灌漑施設などの大規模な土木工事や鉄器の製作、機織りなど多岐にわたり、古代日本の社会構造を大きく変える要因となりました。選択肢にある倭寇（海賊行為）は中世以降、朝鮮通信使（公式使節）は江戸時代の出来事であり、時代背景が異なります。 |